



喜多流自主公演

令和四年 五月

令和4年 5月22日(日)

12:00開演 (11:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始: 令和4年3月1日(火) 午前10時~

料金: 全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階後部) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

・ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃるお客様、入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から日本への入国後14日間経過していないお客様のご来場はお断りいたします。

・会場入り口前で手指の消毒、検温を実施させていただきます。体温が37.5℃以上の方、あるいは体調の悪い方のご来場はお断りさせていただきます。ご了承ください。

主催: 公益財団法人十四世六平太記念財団
 協力: 一般社団法人喜多流職分会
 後援: 品川区、品川区教育委員会

船橋 頼政 中村邦生
 賀茂物狂 佐藤寛泰
 塩津圭介

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
 (24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
 (午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
 (午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。
 ※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

※新型コロナウイルス感染の地域における動向や政府等の通達などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂する場合がございます。

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・感染防止のため、2階ラウンジでの飲食は短時間にてお済ませさせていただきますようお願いいたします。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

当能楽堂は、政府、公益社団法人全国公立文化施設協会などのガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策ガイドラインを定めています。なお、本ガイドラインの内容は、新型コロナウイルス感染の地域における動向や専門家の意見などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとさせていただきますので、ご来場の前には当能楽堂HPにてご確認ください。お客様におかれましても、ご自身の感染予防とともに周りのお客様にご配慮いただけますよう、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

<http://kita-noh.com/covid-19-guidelines/>

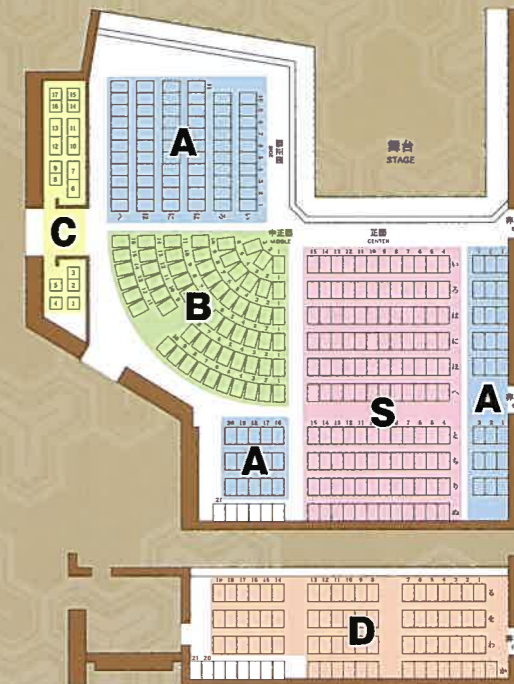


喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
 - ・追加料金はかかりません。
 - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
 - ・年間優待券のみでの観能はできません。
 - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席 9,000円 C席(1階後部) 6,500円
 A席 8,000円 D席(2階席) 6,500円
 B席 7,000円 学生席(2階席) 2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9
 TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999
 喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

能

後シテ頼政の霊
前シテ老人 中村邦生

頼政

ワキ・旅僧 宝生欣哉
アイ・宇治の里人 野村太一郎

大鼓 國川 純
小鼓 曾和正博 笛 松田弘之

後見 友枝昭世
内田安信

地謡 友枝雄太郎 栗谷浩之
狩野祐一 大村 定
谷 友矩 出雲康雅
高林昌司 大島輝久

狂言

伊文字

後シテ使いの者
前シテ女 野村萬斎

アド・主 深田博治
小アド・太郎冠者 高野和憲

休憩(二十分)

能

シテ・女 佐藤寛泰

賀茂物狂

ワキ・都の男 館田善博
ワキ連・男の従者 梅村昌功

大鼓 佃 良太郎 笛 竹市 学
小鼓 飯冨孔明

後見 香川靖嗣
谷 大作

地謡 金子龍晟 栗谷充雄
佐藤 陽 友枝雄人
佐々木多門 長島 茂
谷 友矩 内田成信

休憩(十分)

仕舞

巻絹

谷 大作

地謡 金子龍晟
金子敬一郎
大島政允
大島輝久

能

狩野祐一

シテ連・里女の霊
後シテ・里男の霊
前シテ・里男 塩津圭介

ワキ連・同行 矢野昌平
ワキ・山伏 村瀬 提
ワキ連・同行 村瀬 慧

大鼓 柿原光博 太鼓 梶谷英樹
小鼓 幸 信吾 笛 小野寺竜一

アイ・佐野の里人 野村裕基

船橋

後見 塩津哲生
松井 彬

地謡 友枝雄太郎 高林伸二
佐藤 陽 狩野了一
友枝真也 栗谷明生
高林昌司 金子敬一郎

附祝言

終了予定時刻五時二十分頃

頼政 (よりまさ)

旅の僧が初夏の宇治の里に赴く。美景に見入り里人との出会いを待っている。老人が現れて所の名所を教え平等院に案内する。扇の形に残された芝を見て僧は不思議に思い老人に尋ねる。老人は源三位頼政が扇を敷いて自害した跡と語り、自分こそその頼政の幽霊であると名乗って消える。(中入)夜になると、在りし日の姿で頼政の霊が現れ、敗戦の様子を物語る。平家に追われる頼政軍は奈良に落ち行く途中、高倉の宮の疲労がひどいので平等院で仮睡のために陣を敷き、追っ手を防ぐため宇治橋の橋板を外し敵を待ち受けた。やがて川を挟んだ戦いとなったが平家方の田原又太郎忠綱が馬を川に乗り入れ、兵をみごとに指揮して対岸に乗り上げた。これにより頼政の子息たちも討ち死にして軍は敗北する。頼政も平等院の庭で扇を敷き、埋木の花咲く事もなかりしに身のなる果はあはれなりける」と辞世の歌を詠み自害したのだった。(約九十分)

伊文字 (いもじ)

ある主人は太郎冠者を連れて妻をいのお参りの為に清水の観世音へやってきました。西門に立つ女を妻にせよとの夢の御告げを受けたので行ってみると、案の定、女が立っており女は「恋しくば問うても来たれ(来ませ)伊勢の国 伊勢寺もとに住むぞ妾は」と言って消えてしまふ。しかしきちんと覚えられなかった太郎冠者は、主人と一緒に歌関を作り、通りがかつた者に下の句は「い」の字がついた国と里の名であろうと推察して歌のあとをつけさせる。さて、女の住処を当てられるのであろうか。(約三十分)

賀茂物狂 (かもものぐるい)

都の男は訳あって東国に下り、ようやく数年ぶりに家に帰るが、妻は行方知れずとなっていた。折しも賀茂の葵祭りの頃だったので祈りを捧げるために賀茂社に赴く。妻は夫の帰りを待ちこがれるあまり物狂いになり、東国をさまよっていたが、都に戻り葵祭りに惹かれてやってくる。男は狂女が妻とは気づかず、神事だから心を静めることを勧める。狂女は男の勧めのままに神に手向けの舞を舞いつつ、夫を探しに放浪の旅に出たことを語る。やがて二人とも相手が伴侶であることに気づくが人目を憚り口にしない。そして二人は話し合わせたかのように家路に向かい再会を喜びあうのであった。(約八十分)

船橋 (ふなばし)

三熊野の山伏が上野国佐野への山路を行くと、男と女が現れて橋の建立の勧進をする。山伏は橋建立の謂われを尋ね、また万葉集の歌に「東路の佐野の船橋取り放し」と「鳥は無し」があるが、どちらが本説かと尋ねると、男はそれについての言い伝えを語り始める。昔、川を隔てて住む男女がこの船橋を逢瀬の通路にしていたが、それを良しとしない親が橋の板をはずしたため、男は川に落ちて亡くなった。その妄執の罪で地獄に落ち成仏することもなかったと語り、実は我々がその男女の霊であると言い、そして弔いを頼んで姿を消す。(中入)山伏が祈禱をしていると、先程の男女の霊が現れて、男は地獄の苦しみを見せ、懺悔の為に昔、通い慣れた船橋を渡って妻に会いに行く様子を再現し、山伏の法力で成仏が出来たと告げて、消えていった。(約八十分)

令和四年 六月 自主公演番組予告

令和四年 六月二十六日(日) 正午始

十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始 令和四年四月一日(金) 午前十時

清 経 栗谷 充雄
杜 若 栗谷 明生
是 界 長島 茂